

奇

奇は、大と可^カとの会意形声字です。“大いによろしい”ということで、“珍しい”という意味を表わしています。珍しいことは二つとはないので、“一つ”の意味にもなります。また、珍しいことは、“不思議”なことでもあり、変だなあと“あやしむ”ことにもなります。音は可^カの変化したキ。

- 珍しい…… 「珍奇」「奇計」
- 一つ …………… 「奇数」
- 不思議…………… 「奇術」「奇跡」
- あやしむ…………… 「奇怪」

崎は、“珍しい山”という意味の会意形声字です。音は奇^キです。普通の平地にある山形の山ではなく、海の中に突き出たゴツゴツした岩の多い珍しい形の山で、“みさき”のこと。“崎”の漢字は単独では使われず、「山崎」とか「長崎」とか使われるので、「さき」と読まれます。先^{さき}の意味のことばです。

埼は、崎と同じ成立ちで“珍しい土地”つまり、変化に富んだ地形の土地の意味です。訓は崎と同じ「さき」です。

綺は、“珍しい糸”という意味の会意形声字で、音は奇^キです。“あや模

様のある絹糸”のことを言います。「綺羅星の如く…」などと使われますが、羅は薄くすきとおった絹のことです。どちらも昔は貴重な物でした。「綺麗」は、綺のように美しいという意味の字です。わが国では、「きれいにすっかり忘れてしまった」などとも使います。

倚は、人は珍しい物に“よりつく”という意味で人と奇とで“よりつく”意味を表わしたものです。音は、奇。また、子音が取れてイとも発音します。この場合は、“依”と同音同義になります。倚託（依託）。倚頼（依頼）。

椅は、倚の意味の奇と木との会意形声字です。“寄りかかるための木製の道具”という意味の字です。「椅子」という言葉のために作られた字です。音は倚^イです。

寄は、“家に身を倚せる”という意味で、家の意味の宀と、倚の意味の奇との会意形声字です。音は倚^キです。

寄宿。寄港（船が港による）。寄稿。また、“与える”意味にも使われます。寄贈。寄付。寄与。